

農業機械に強みを持つ部品生産メーカー 複雑形状、難加工に対応できる技術力を持つ

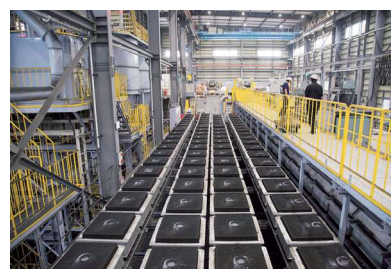
同社は昭和26年に西尾市で創業以来、農業機械用部品、一般産業機械部品や汎用ポンプ部品等の鋳造品を製造している。現在では、鋳造から切削、加工、塗装まで一貫した生産システムを構築する部品生産メーカーとなっている。売上全体の約70%を占める農業機械関連に強みを持つ。主要取引先は同社鋳物部門売上の約80%を占める大手農機メーカー株式会社クボタである。複雑形状および難加工に対応できる技術力が長年評価され続けており、協力会社としての確固たる地位を築いている。

- 所在地 愛知県西尾市寺津町四ノ割横道西10番地1
- 設立 1959年
- 電話/FAX 0563-59-7135/0563-59-6644
- 資本金 2,435万円
- URL <http://www.yamaki-c.co.jp>
- 従業員数 120人
- 代表者 代表取締役社長 鈴木 英昭



多品種小ロットかつ複雑形状に対応する高度な鋳造・加工技術

同社は農業用トラクターのミッションケースおよびクラッチハウジングを中心に、車両用から家庭用まで幅広い鋳造品を製造している。多品種小ロットに対応できる鋳造ラインを有し、かつ、複雑形状、薄肉等に対応できる高精度の鋳造および加工技術を持っており、競合先と比べ優位性がある。主要取引先である株式会社クボタからの厳しい品質要求に答えていること、一旦海外に部品を任せた取引先がその品質の悪さから同社に戻ってくるなど、多くの取引先から厚い信頼を得ており、国際競争力も十分に備えている。



多品種小ロットに対応できる鋳造ライン

小物から大物まで鋳物一貫生産による、生産性向上の取組み

製造重量150kg以下の大物鋳造ラインでの大物鋳造部品の製造が同社の強みである。平成29年に製造重量30kg以下に対応できる中・小物鋳造ラインを新設・導入。小物から大物まで幅広いサイズに対応可能である。金型企業を子会社化することで強化された金型部門、最新式のマシニングセンタおよびバリンダーを導入して強化された加工・仕上げ部門、両部門併せて、一貫生産態勢による生産性向上、コスト削減および品質向上が図られている。人手不足の中で付加価値向上を目指す取組を行っている。



最新式のマシニングセンタ

受注および製造工程の管理にITを活用したシステム構築による業務効率化

同社ではこれまで受注管理を事務員が直接行っていたことから、手配管理、工程管理や納期管理などで人為的なミスが発生していた。そこで、平成29年度に経済産業省 中部経済産業局の「中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業(シニア)」を活用し、シニア専門家からの継続的なアドバイスをもとに「製造工程管理システム」を構築、生産効率化および業務効率化を図っている。ITシステム活用より、一層のQ(品質)、C(コスト)、D(納期)、S(サービス)を追求している。



製造工程管理システムトップ画面